



寺嫁まめこの ひとこと通信

お寺のことや仏教のことをもっと身近に！そんなことをまずは自分で感じてみよう～、と思いながら書いている寺嫁のつぶやき。毎月ほぼ8日に発行

VOL.5 (平成31年3月発行)

ここ数年、「私はまだ花粉症ではない！」と自分に言い聞かせてきましたが、とうとう、とうとう、目薬デビューしました…薬すごいです。一番マイルドなものにしたのですが、ちゃんとかゆみが治まります。素直になることも必要ですね。つらい時期を過ごされている方も多いこの季節。まめこ通信がココロの処方箋になれば！（って、なるわけないか(^_^;)…）今号もどうぞよろしくお祈りします m(__)m



お釈迦様がお生まれになったとき、

甘い雨が降ったんだって！

いきなりですが、お釈迦様のお誕生日を知っていますか？
……すばり、4月8日です！（と言われています。なにせ 2500 年前のことですから。）お寺では「**花まつり**」としてお祝いの法要をします。

この「花まつり」では“お茶を仏像にかける”ということを行います。知らない人が聞くと、なんじゃそりゃ？と思うでしょうが、もう少し詳しく書くと、**甘茶（あまちゃ）**を誕生仏（たんじょうぶつ：お釈迦様が生まれたときの姿）**にかける**んです。なぜでしょう???



それはお釈迦様がお生まれになったとき、甘露（かんろ）の雨が降ったと言われているからです。ちなみに甘露、とは**苦悩を癒し、長生きができると言われる大変ありがたいもの**とされています。お釈迦様の誕生。それはイコール仏教の誕生！

こんなすばらしいことはない、という気持ちの表れでもあるかもしれませんね。

ちなみにこの方が甘露の雨を降らせたと言われている、**跋難陀龍王【ばつなんだりゅうおう】**さまです。 ※まめこイメージ

ここで甘露の雨を表している甘茶をご紹介～～～！

東光寺で用意している甘茶は、甘茶に甘草（カンソウ）をちょっぴり加えたものでして…

●甘茶とは：
アマチャという木の葉っぱを加工調整・発酵させたもの。



●カンソウとは：甘草という多年草の植物で、この根っこを乾燥させたもの。



どっちも甘いのですが、薬として使われているものなので、すこーし苦みもあったりして、なかなかおいしいですよ^_^